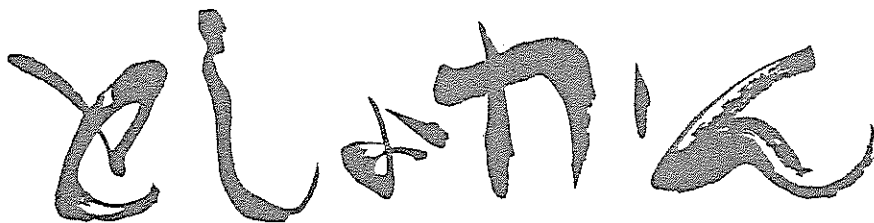


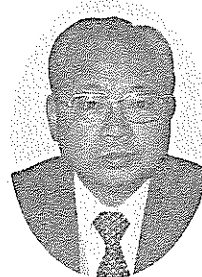
宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。

編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231



図書館の歩み



館長

安達 光政

地方の時代が声高に叫ばれていた最中の昭和五六年の七夕に開館した宇都宮市立図書館も、八年六か月を経過いたしました。

この間に収集した図書は、平成元年三月三十一日現在四八四、〇〇〇冊に達しております。

これらの蔵書には、市民の皆様から御寄贈いただきました貴重な図書が多数含まれておりますことは申すまでもありません。

市民の皆様のお好意に対し、深く感謝の意を表したいと思っております。この蔵書数は、類似都市と比較いたしますと抜群の蔵書数であります。

ついでに、昨年の統計から図書の利用状況を見てみますと、利用者は延べ二五九、三五八人、貸出図書数は八七二、七六〇冊にのぼっております。

このことは、市民の皆様のご読書意欲の表出であると共に図書館に係わっております各種団体の方々の御支援に負うところが大きいものと信じております。

次に、当面の図書館の予定を述べますと、昨年十月に雀宮地区センターが業務を開始したことに伴い、旧雀宮公民館を改装して蔵書数二二、〇〇〇冊を持つ図書室として本年三月に開設いたします。

平成二年度には清原及び篠井地区に建設する地区センターに各々七、〇〇〇冊の蔵書を持つ図書室を設けるためたいま準備を進めているところであります。

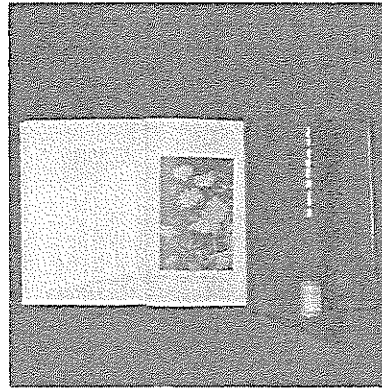
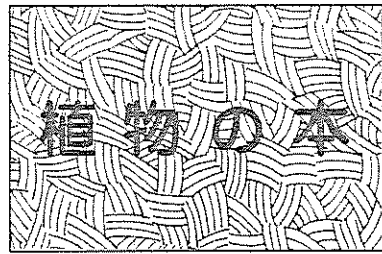
更に、平成四年度には、JR宇都宮駅の東に現在の市立図書館を上回る規模の仮称宇都宮市立東図書館を建設する予定であります。

以上図書館の現状と今後の予定を述べましたが、私共にとつての悩みは、これら多数の蔵書を利用することのできない視力障害者に対する対応であります。

従来、点訳・朗読ボランティア及び落語会の方々の協力によって点字本・声のテープを作成して参りましたが、昨年四月には全員の職員が一名採用になりましたので、これを機会にサービスの内容と質の向上を図って参りたいと思っております。

ふるさとの本を紹介

郷土資料コーナー②



『とちぎの花』

古沢昭著、花神社刊、一九七五年、品切れ。

この本を読んでいると、いつのまにか植物の名前を覚え、親しみを感じるようになります。それは、生物学の教師である著者の植物に対する科学的知識、自然に対する愛情の深さ、理科畑の人とは思えぬ文学的素養の豊かさ、文章の柔らかさなどによることが大なのですが、それらに加え、紹介されている植物の名前も情緒のあるものが多く、著者が苦労して写した一頁大の植物の写真と共に、可憐さや美しさを読者に伝えていくことにもよります。

また、著者はこの本の中で自然が破壊されることを憂え、文中で

草、めだたい植物とされ、正月用として出荷されています。花言葉は「しあわせを招く」。自然では、三四月に咲く花です。

類書として

『宇都宮の名木』

宇都宮市教育委員会社会教育課編・刊、一九八一年、品切れ。

天然記念物に指定されている文化財としての樹木や宇都宮市内の巨木・古木・珍木なども収録されています。紹介されている樹木は、ほとんど百年以上経過しているものです。

『原色栃木県植物図鑑 I・II』

栃木県植物同好会編、月刊さつき研究社刊、一九八八年、各一、八〇〇円。

Iは、身近な植物と平地の植物、IIは、山地の植物を集めています。一頁の上半分にカラー写真を載せ、花の時期、特徴、県内の分布、生える場所、見分け方と似た植物、人間との関係、県内の方言など中学生にもわかるよう、やさしく解説しています。

『しもつけ植物風土記』

白井清松著・刊、一九八三年、非売品。

昔から、植物が、人間の生活の中で、どのように利用されてきたかを、衣食住、宗教、年中行事、

遊び、民間薬などにわたり、エッセイ風にまとめています。

『栃木県植物方言集』

小川晃一著・刊、一九六四年、複製。

栃木県の植物の方言名を集めたものです。例えば、いぬたでは、アカマンマ（宇都宮・小山・黒磯）、オコワグサ（宇都宮、キツネノゴハン（宇都宮）などいろいろに呼ばれています。

『栃木県の植生と花』

長谷川順一著、月刊さつき研究社刊、栃の葉書房発売、一九八二年、三、八〇〇円。

栃木県の自然植生の中で森林植生を中心に、過去6年間に野外調査した資料をもとにまとめたもので、第I部・栃木県の花、第II部・栃木県の植生からなる学術書です。

『とちぎの高山植物』

栃木県立博物館編・刊、一九八五年、品切れ。

『きのこNo1・一九八六』

栃木県きのこ同好会編・刊、一九八六年、会員配布。

『きのこNo2・一九八七』

栃木県きのこ同好会編・刊、一九八七年、会員配布。

目 安 箱

① 一階のブラウジングコーナーで新聞や雑誌を読んでいます。いつも読みたい最新号がないのだから。

② 一階の雑誌コーナーには285タイトルの雑誌、11紙の新聞外にタウン紙洋雑誌が並べられています。雑誌架の表にあるものは最新号で貸出しや予約が出来ません。雑誌架は開くようになっていて中には過去一年分の（週刊紙は一ヶ月分）バックナンバーが入っており皆様の利用を願っております。

しかし最近、利用者の中には最新号の雑誌やその日の新聞を独り占めにし何冊もかえこんで読んでいる人を見かけます。最新号の雑誌やその月の新聞は特に利用が多いので一人一冊、または一紙を原則とし譲りあつて利用してくださるようお願いいたします。

※図書館では大勢の方が利用しますので小さな音も大きな雑音となります。互いに注意し気持ちよく利用出来るよう心掛けましょう。



日本古典文学講座(2)

前回に引き続き塚本澄子氏を迎えて、12月17日(日)に第2回の日本古典文学講座を開催しました。

今回は万葉集の相聞と挽歌の始まりについて解説されました。

万葉集の中では最も古い時代の磐姫皇后の歌が相聞の冒頭に置かれています。

これはやはり相聞の始まりを格付けたものと考えられます。

非常に古い伝承歌を踏まえて、それが磐姫という女性に仮託して作り直されたものです。

実際の歌の内容はもつと新しいもので、ほとんど万葉集第三期の歌の叙情性を持っています。

相聞も挽歌も本当に始まるのは天智天皇の時代なのです。

万葉集の挽歌は非常に広い意味で歌われていて、辞世の歌や伝説上の人物の死を歌ったものも収められています。

その挽歌の源流は葬式の歌ですが、けれども、本当の葬式の歌というものはほとんど叙情詩ではないのです。

読み聞かせ研修会

12月10日(日)、パネルシアター指導者の小林静子氏を迎え、第3回「読み聞かせ研修会」を開催しました。

「パネルを作って楽しく遊ぼう」をテーマに、パネルシアターの制作を中心に行いました。

初めにパネルシアターの実演があり、さっそく、制作にかかりました。

まずPペーパーに動物や人物を写しとり、色を塗っていきます。次にはさみで型をきりととり、一つ

できあがりです。作品によっては針と糸をつかって動くように作ったり、裏にネル地を縫いあわせたり、裏と表にそれぞれ色を塗ったりと様々です。制作中は皆さん一生懸命に作品にとりくんでいました。

最後に、またパネルシアターの実演があり、ブラックパネルを使って「てんとう虫のサンバ」が演じられ、暗い中にかげり上がる作品の美しさに皆さんうっとり見入っていました。その他楽しい歌

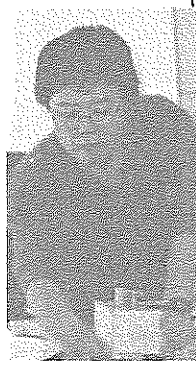


これは魂を呼び戻すような非常にリアルなもので、体ごと使った動作の付いた歌ですから、言葉としては独立してないのです。

詩としての挽歌が日本で生まれるのは大化の改新の後です。

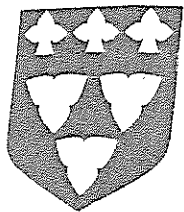
天智天皇の時代に中国の文化をふんだんに取り入れ、漢詩を非常に盛んにするのです。

その影響を受けて日本の和歌も本格的になって行く訳です。



とともに作品が演じられ、楽しく研修会を終えることができました。幼稚園や保育園の先生も受講し、仕事の中でぜひ役立てたいという感想もあり、終わってからも、ブラックパネルや蛍光灯について質問をする姿が目立ちました。今度はぜひ、自分たちで実演もやらせてほしいという意見も出て、3時間に及ぶ満足度の高い研修会となりました。

展示コーナー

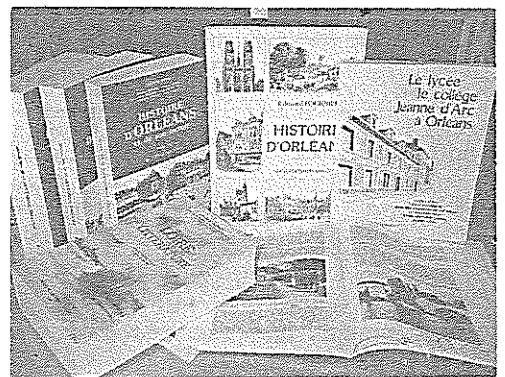


オルレアン市からの本

昨年12月、姉妹都市のフランス・オルレアン市から宇都宮市へ、25冊の本が贈られてきました。本はすべてフランス語で、フランスの代表的な文学作品をはじめ、オルレアン市の歴史書や地方の文学論集など、おそらく日本では他ではみられないような本も混ざっていました。

姉妹都市の提携(昨年5月)以来、オルレアン市代表の宇都宮市訪問など、両市は活発な交流を続けています。今回の本の寄贈により、互いに本を交換しあい、文化的交流も盛んになるでしょう。

これらの本は、現在3階ホールで展示していますが、期間終了後は図書館の蔵書としてご利用になります。



◇寄贈図書一覧(一)内は著者
ガルガンチュア、パンタグリユエル(以上ラブレール、モンド(ルクレジオ)、コロンバ(メリメ)、告白(ルソー)、感情教育、ボヴァリ夫人、サランボ、プバルとベキユシユ(以上フロベール)、旦那様の恋人(コリアン)、プルクの一作、永遠の生(アタリ)、悪の華(ボードレール)、瞑想詩集(ラマルチヌ)、誘惑(ボードリヤール)、フィガロの結婚他(ボーマルシェ)、フランスの歴史、オルレアンの歴史、オルレアン地方の歴史、一九四〇―一九四五動乱期のロワレ、オルレアン市ジャンヌダルク高校、ロワレの文学。

子どもと子どもの本を つなぐ講座

日時 2月4日(日)

午後1時30分～3時30分
講師 児童文学翻訳者
内田莉沙子氏

テーマ 「子どもの本と私」

場所 市立図書館3階集会室

定員 120名

受付 1月26日(金)午前9時30分
から、電話または直接、市立図書館へ。

託児 1才以上のお子さん20名まで。受付の時予約して下さい。

読み聞かせ 研修会

日時 2月25日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 湯沢朱実氏

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 「子どもの好きな絵本」

定員 120名

受付 2月16日(金)午前9時30分
から、電話または直接、市立図書館へ。定員になり次第締め切ります。

合同発表会

3月20日、22日～27日まで、1

文芸講演会②

日時 3月11日(日)

午後1時30分～午後3時30分
講師 評論家 下重暁子氏

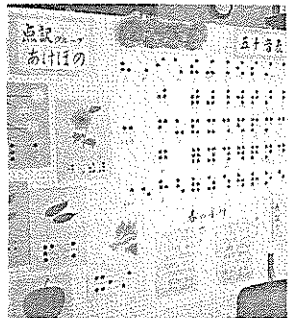
テーマ 未定

場所 市立図書館3階集会室

定員 120名

受付 3月2日(金)午前9時30分
から、電話または直接、市立図書館へ。定員になり次第締め切ります。

ニュース コーナー



階ロビーにおいて次の団体による発表会を行います。

参加団体は、宇都宮子どもの本

連絡会・宇都宮すいひつの会・宇都宮市読書会連合会・古文書を読む会・点訳グループ「あけぼの」・朗読グループ「あけぼの」です。

集会室での発表会については、日程が決まり次第お知らせいたします。お子さん向けの催し物もありますので、ぜひご覧ください。

ボランティア製作

あたらしい本

点字図書
▽危機一髪はハートの気分
(山岸悦子)▽バツケの原の物語(北條いせ)▽哀しい予感・1リットルの涙(梶原ゆみ子)▽呪いの家(金須茂登子)▽赤毛のアン(齊藤俊子)▽四つ葉のエッセイ(増山初美)
声の図書
▽魔女の宅急便(今城優子)▽広島は火の海だ(横山嘉子)▽骨肉の掟(渡辺美晴)▽おちやめなふたこのすてきな休暇(矢野トシ)▽盲導犬フロックスのてがみ・女の河(山下)▽黒川敏子)▽キャンパにおじさんは舞う(鴨志田正子)▽佐渡伝説殺人事件(松川展子)▽夫・山本周五郎(綾部則子)▽白い杖の希い・ダイ再考(木村あい)▽英語のでこぼこ道・非合法員・濁く大地(藤田東子)▽どくとるマンボウ追想記(中臣五子)▽盲導犬フロックスとの旅(青木桂子)▽おてんばエリザベス(木立とみ)▽面白ゆるやか教育のすすめ(北澤則子)▽杜の都殺人事件・Wの悲劇(田中義子)▽こおりついた炎・おちやめなふたこの秘密(生野裕子)▽フー子とママのふたり(石崎左知代)▽わたしのババはケンタ氏・りえの雲の旅(深水京子)

寄

贈

小野瀬一郎、町田芳秀(くさぶえ)、大根田俊之(飛翔の詩)、北見幸夫(詩集藁の匂い)、島英子(書足尾)、宝木探訪クラブ(新里道を訪ねて、那須与一公顕彰会(全国に伝わる与一の話あれこれ)、高沢朝子(「刻」高沢明子詩集、松浦さくら子(ロシアから来た客他)、わかさ短歌会(魚鏡、渡辺美都(合同句集繻繻繻繻)さいから最書第七十七集、新潮プレス(月刊タウン情報もんみり臨時増刊、松下育男(生成する「非在」、他多数。

利用案内

●開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は
午前9時30分～午後5時

●休館日

毎週月曜日
国民の祝日

●貸出は

図書・紙芝居
レコード・CD
(コンパクトディスク)
ビデオ・16ミリフィルム
5点 5点 5冊

●講座の問合せ・申込み
電話または直接図書館へ
電話(36) 0231

貸出状況

区分	元年11月	元年12月
登録者数	140,345人	140,944人
貸出人数	館内	16,213人
	館外	14,449人
	中	2,688
	公	1,656
	視聴覚	984
貸出冊数	計	785
	館内	2,488
	館外	2,296
	中	22,373
	公	19,186
	視聴覚	53,640冊
	計	48,957冊
	館内	11,337
	館外	7,898
	中	3,325
	公	2,678
	視聴覚	7,688
	計	7,174
	75,990	66,707

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数
中公は、中央公民館図書コーナー

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	⑬	14	15	16	17
18	⑱	20	21	22	23	24
25	⑳	27	28			

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	⑱	20	⑳	22	23	24
25	㉑	27	28	29	30	31